

千葉県英語教育改善プラン

(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

【小学校】

学習到達目標の設定状況について

	2021
設定している	44%
公表している	8%
達成状況把握	43%

(1) 目標指標

2022年度末までに学習到達目標の公表と達成状況把握を50%にする。

(2) 現状

各研修会等で学習到達目標の作成において、効果的な活用について周知することで、達成した半数弱の学校が目標を設定している。しかし、公表に関しては課題が残っている。

(3) 目標達成のための具体的手立て

○「学習到達目標の公表」と「達成状況を把握」している学校の取組事例を紹介する機会を設定する。

○目標を公表するメリットを周知したり、「公表している」学校の事例を紹介したりして、活用を促す。

小学校教員の英語教諭免許状所有者数について

小・教員	2017	2018	2019	2020	2021	2022
目標					7%	7%
現状	4%	5%	5%	5%	5%	

(1) 目標指数

中学校英語教諭免許状を所有する小学校教員数を、2022年度末までに全体の7%以上とする。

(2) 現状

- ・ここ数年、免許所有者の割合は、全体の5%前後で推移している。
- ・免許所有者の退職等もあり、所有者が減少する年も見られる。

(3) 目標達成のための具体的手立て

○新規採用者の選考において、中学校英語教諭免許状所有者を積極的に採用する取組を継続して行っていく。

○千葉県教育委員会や千葉大学と連携し、免許法認定講習が開催された場合、受講希望者に周知して免許状取得者を増やしていく。

小中連携について

中学校区	2017	2018	2019	2020	2021	2022
目標				40%	80%	80%
現状	33%	29%	29%		70%	

(1) 目標指数

小・中学校間で、指導方法等についての検討会、授業参観後の研究討議、中学校教員による小学校での授業実践など、交流・連携を図り、相互理解に努める中学校区を全体の80%以上にする。

(2) 現状

- ・すべての中学校区で、授業参観を中心に、情報交換を行っている。
- ・英語教育に関する検討会、研究協議、異校種での授業実践などを行っている中学校区は

まだ少なく、小中学校教員が互いの英語教育の現状を把握しきれていない。

(3) 目標達成のための具体的手立て

- 年度初めの教科等主任研修会において、小中連携の重要性と、小中英語教育連携調査の実施について周知し、年間2回の調査を通して交流・連携に関する意識を高める。
- 各種研修会において、密に連携を取っている学区の紹介を行い、それぞれの中学校区での交流・連携の促進を図る。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のためと、多忙な教員が負担なく気軽に情報共有ができるようにオンライン掲示板やオンライン会議システムを使った情報交換の方法を周知する。

【中学校】

生徒のCEFR A1 レベル相当以上の資格取得状況について

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
受験したことがある	40%	42.4%	43.2%	39.1%		40.5%
取得している	25.9%	27.7%	29.1%	27.8%		29.6%
有すると思われる	20.7%	19.5%	17.7%	16.4%		14.9%

(1) 目標指標

求められる英語力 (CEFR A1 相当以上) を有する生徒の割合を 2022 年度末までに 55% にする。

(2) 現状

2019 年度と比較し、2021 年度における「受験したことがある」生徒の割合及び「取得している」と「有すると思われる」生徒を合わせた割合は、増加に転じている。

(3) 目標達成のための具体的手立て

- 生徒の英語学習に対する興味関心を高め、自ら意欲的に学ぶ姿勢を身に付けるため、各中学校において、言語活動を充実させ、活動時間を増やし授業改善を図る。
- 英語教員の指導力の向上を図るため、ブロック研修会での研究授業後に成果と課題を共有するだけでなく、協議会で指導法改善をテーマに参加型研修を実施する。
- 英語教育推進リーダーを活用し、指導力向上を図るとともに、受講者が校内での研修リーダーとして指導法の共有を図る。
- 「有すると思われる生徒」の数値に関して、判断基準をより明確にする必要がある。CEFR A1 程度の英語力が必要とされる指標を示し主任会などで周知する。
- 各学校で授業改善を推進し生徒の英語力の向上を図るとともに「受験したことがある」と「取得している」の数値の増加に相関関係があることを各種研修会等で説明する。

学習到達目標の設定状況について

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
設定している	100%	100%	100%	89.1%		92.6%
公表している	14.5%	7.3%	10.9%	9.1%		16.7%
達成状況把握	21.8%	23.6%	34.5%	32.7%		31.5%

(1) 目標指標

2022 年度末までに学習到達目標の公表と達成状況把握を 50%にする。

(2) 現状

2021 年度における「設定している」及び「公表している」の数値は、増加に転じている。学習指導要領に基づき、新しい評価と改訂教科書の内容を踏まえ、研修会等でリストの効果的な活用について再度周知することで、「達成状況把握」の数値が増加するように努めている。

(3) 目標達成のための具体的手立て

- 「学習到達目標の公表」と「達成状況を把握」している学校の取組事例を紹介する機会を

設定する。

○実態に合わせて修正や変更が必要になってきている。その必要性を周知し、各学校の英語部会でPDCAサイクルを意識した取組を行う。

生徒の授業における英語による言語活動時間の割合について（50%以上）

2021年度

1年：62.1% 2年：70.0% 3年：74.7%

(1) 目標指標

授業における生徒の英語による言語活動の割合が50%以上となる教員の割合を、2022年度末までに1年生80%、2年生85%、3年生90%にする。

(2) 現状

入門期の中学校1年生に比べ、2年生での言語活動の時間は増加している。一方で、英語力が身に付いてきている3年生での言語活動の時間の割合を更に増加させる必要がある。

(3) 目標達成のための具体的手立て

- 現状や課題について情報共有するとともに、3年生での言語活動の充実を図る。
- 各種研修会等で参考となる言語活動や取組事例を紹介する。

パフォーマンステストの実施状況について

2021年度

1年：81.5% 2年：79.6% 3年：85.2%

(1) 目標指標

各学校の実態に応じて、パフォーマンステストの回数を設定し、着実に実施する。2022年度末までに実施回数をスピーキングテスト8回、ライティングテスト6回にする。

(2) 現状

2019年度と比較して、2021年度の実施状況は、中学校1・3年生では増加に転じ、中学校2年生ではほぼ同水準である。

(3) 目標達成のための具体的手立て

- 年度当初の主任会において、年間の中で計画的にパフォーマンステストを実施することを指導・助言する。
- 研修会でパフォーマンステストの具体的な指導法と評価について周知する。
- 教育課程研究協議会で各学校の取組事例を紹介し、工夫した取組を情報共有しながら協議する。
- 学習指導要領に基づき、定期テストを含めた評価に関する改善を周知していく。

英語担当教員の英語使用状況について（50%以上）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
1年	72%	70.6%	74%	83.7%	/	57.5%
2年	72%	71.8%	83.1%	75.9%	/	55%
3年	76.2%	69.3%	77.6%	85.4%	/	69%

(1) 目標指標

授業における半分以上の発話を英語で行っている教員の割合を2022年度末までに100%にする。

(2) 現状

2021年度は各学年ともに英語の使用状況の割合は減少に転じている。

(3) 目標達成のための具体的手立て

- コロナ禍にあっても、効果的な英語使用の在り方について研鑽を深める。
- 小学校での学習内容や指導について理解するとともに連携を深め、1年生での英語使用状況を高める。
- 現状や課題について情報共有を行う。

○年度当初の主任会で英語指導者が英語使用者及び英語学習のモデルであるという意識を高めるなどの啓発を行う。

CEFR B2（英検準1級）以上の英語力を有する教員の割合

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
受験した経験がある	73.2%	83.1%	88.8%	86.8%		83.9%
取得している	45.8%	32.3%	43.3%	42.9%		47.3%

(1) 目標指標

求められる英語力（CEFR B2相当以上）を有する教員の割合を2022年度末までに50%にする。

(2) 現状

2021年度の割合は過去と比較して最も高い。

(3) 目標達成のための具体的手立て

○各種研修会等において、英語力を向上させ、英語に触れる機会を多く設定する必要性について繰り返し啓発し、英語力向上の必要性を周知するとともに資格取得を促す。

(3) 研修の体系と内容の具体

研修に関する内容等を記載

【小学校】

1 教科等主任研修会

- (1) 対象者：市内小学校外国語科・外国語活動主任
- (2) 目的：外国語科・外国語活動指導力の向上、事務連絡等の周知
- (3) 研修日：令和4年5月6日（金）
- (4) 会場：市内中学校（もしくはオンライン開催）
- (5) 講師：担当指導主事

2 小学校外国語活動担当教員研修

- (1) 対象者：市内小学校外国語科・外国語活動担当者
- (2) 目的：外国語科・外国語活動指導力の向上
- (3) 研修日：令和4年5月19日（木）、6月14日（火）、7月19日（火）
7月20日（水）、7月21日（木）、7月22日（金）
- (4) 会場：千葉市教育センター
- (5) 講師：担当指導主事

3 教育課程研究協議会

- (1) 対象者：市内小学校外国語科・外国語活動主任
- (2) 目的：学習指導要領の趣旨を踏まえた指導法の改善
指導法改善をテーマとした参加型研修
- (3) 研修日：令和4年8月4日（木）
- (4) 会場：千葉市稲毛区役所（もしくはオンライン開催）
- (5) 講師：担当指導主事、現場研究経験者

4 ブロック研修会

- (1) 対象者：市内小学校外国語科・外国語活動主任
- (2) 目的：公開授業及び研究協議会
指導法改善をテーマとした参加型研修
- (3) 研修日：公開授業校の日程による
- (4) 会場：ブロック研修会担当校（市内6校）
- (5) 講師：担当指導主事

5 外国語指導助手（ALT）研修会

- (1) 対象者：小学校外国語指導助手38名

- (2) 目的：外国語指導助手の指導力向上、ティームティーチング等に関する周知
 - (3) 研修日：年間11回
 - (4) 会場：派遣会社
- 6 市教育研究会連携研修
- (1) 対象者：市内小学校教員
 - (2) 目的：小中連携をテーマとした講演会及び協議会
 - (3) 研修日：令和4年7月26日(火)
 - (4) 会場：千葉市教育センター
 - (5) 講師：大学教授、中学校英語科担当
- 7 小学校外国語基礎研修
- (1) 対象者：市内小学校教員
 - (2) 目的：外国語科・外国語活動指導力の向上
 - (3) 研修日：令和4年7月25日(月)、8月2日(火)、8月3日(水)
 - (4) 会場：千葉市教育センター
 - (5) 講師：担当指導主事
- 8 教育センター専門研修
- (1) 対象者：市内小中学校外国語教育担当者
 - (2) 目的：外国語教育の最新動向と指導法改善
 - (3) 研修日：令和4年7月27日(水)
 - (4) 会場：千葉市教育センター

【中学校】

- 1 教科等主任研修会
- (1) 対象者：市内中学校外国語科主任
 - (2) 目的：英語指導力の向上、事務連絡等の周知
 - (3) 研修日：令和4年5月6日(金)
 - (4) 会場：市内中学校(もしくはオンライン開催)
 - (5) 講師：担当指導主事
- 2 教育課程研究協議会
- (1) 対象者：市内中学校外国語科主任
 - (2) 目的：学習指導要領の趣旨を踏まえた指導法の改善
指導法改善をテーマとした参加型研修
 - (3) 研修日：令和4年8月5日(金)
 - (4) 会場：千葉市稲毛区役所(もしくはオンライン開催)
 - (5) 講師：担当指導主事、現場研究経験者
- 3 ブロック研修会
- (1) 対象者：市内中学校外国語科主任
 - (2) 目的：公開授業及び研究協議会
指導法改善をテーマとした参加型研修
 - (3) 研修日：公開授業校の日程による
 - (4) 会場：ブロック研修会担当校(市内2校)
 - (5) 講師：担当指導主事
- 4 外国語指導助手(ALT)研修会
- (1) 対象者：中学校外国語指導助手27名
 - (2) 目的：外国語指導助手の指導力向上
 - (3) 研修日：年間11回
 - (4) 会場：派遣会社
- 5 市教育研究会連携研修
- (1) 対象者：市内中学校英語科教員

- (2) 目的：小中連携をテーマとした講演会及び協議会
- (3) 研修日：令和4年8月4日（木）
- (4) 会場：千葉市教育センター
- (5) 講師：大学教授、小学校外国語科担当
- 6 教育センター専門研修
- (1) 対象者：市内小中学校外国語教育担当者
- (2) 目的：外国語教育の最新動向と指導法改善
- (3) 研修日：令和4年7月27日（水）
- (4) 会場：千葉市教育センター
- 【高等学校】**
- 1 授業で使えるディベート入門講座
- (1) 主催：千葉県高等学校教育研究会英語部会
- (2) 対象者：加盟高等学校教員（出席を強く推奨）
- (3) 目的：ディベートを体験することにより、授業に取り入れるきっかけとする。
- (4) 研修日：令和4年5月（予定）
- (5) 会場：県内高等学校（もしくはオンライン開催）
- (6) 講師：千葉県高等学校教育研究会英語部会ディベート部教員
- 2 春季研究協議会
- (1) 主催：千葉県高等学校教育研究会英語部会
- (2) 対象者：加盟高等学校教員（出席を強く推奨）
- (3) 目的：高等学校外国語教育の最新動向と指導法及び評価の改善
- (4) 研修日：令和4年6月（予定）
- (5) 会場：千葉県総合教育センター
- (6) 講師：大学教授、指導主事等
- 3 教育課程研究協議会
- (1) 主催：千葉県教育委員会
- (2) 対象者：公立高等学校教員（出席は悉皆）
- (3) 目的：学習指導要領の趣旨を踏まえた指導法・評価等の理解及び研究協議
- (4) 研修日：令和4年7月・夏季休業中の1日
- (5) 会場：千葉県立千葉女子高等学校
- (6) 講師：担当指導主事ほか
- 4 英語ディベートサマーカップ
- (1) 主催：千葉県高等学校教育研究会英語部会
- (2) 対象者：加盟高等学校生徒及び教員（参加を推奨）
- (3) 目的：生徒が行うディベートを見学し、論題への理解を深め、併せて授業に取り入れるきっかけとする。
- (4) 研修日：令和4年8月・夏季休業中の1日
- (5) 会場：千葉県立成田国際高等学校
- (6) 講師：千葉県高等学校教育研究会英語部会役員及びディベート部教員ほか
- 5 英語ディベート大会ジャッジセミナー
- (1) 主催：千葉県高等学校教育研究会英語部会
- (2) 対象者：大会参加高等学校教員（本市高校は毎年大会に参加）
- (3) 目的：ディベートの論題及びジャッジ法の理解と体験
- (4) 研修日：令和4年秋季休業中の1日（10月3日の予定）
- (5) 会場：千葉県立成田国際高等学校
- (6) 講師：千葉県高等学校教育研究会英語部会ディベート部教員ほか
- 6 英語教育拠点校・公開授業及び研究協議会
- (1) 主催：各拠点校（県内公立高等学校）

(2) 対象者：小・中・高等学校教員（出席を強く推奨）
(3) 目的：学習指導要領の趣旨を踏まえた授業公開と指導法改善のための研究協議
(4) 研修日：令和4年10～11月の各拠点校が定めた日
(5) 会場：各拠点校（県内公立高等学校）
(6) 講師：大学教授ほか
7 英語授業力向上研修会
(1) 主催：千葉県高等学校教育研究会英語部会
(2) 対象者：加盟高等学校教員（出席を強く推奨）
(3) 目的：学習指導要領の趣旨を踏まえた指導法改善
(4) 研修日：令和4年冬季休業中の1日（予定）
(5) 会場：千葉県立佐倉高等学校（もしくはオンライン開催）
(6) 講師：大学教授ほか

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	ブロック研修協力校の指定 小学校外国語指導助手連絡会① 中学校外国語指導助手連絡会①	
5月	小学校・中学校主任研修会 中学校外国語指導助手研修会② 授業で使えるディベート入門講座（高等学校）	千高教研英語部会
6月	小学校外国語指導助手研修会② 中学校外国語指導助手研修会③ 春季研究協議会（高等学校）	千高教研英語部会
7月	市教育研究会連携研修（小学校） 小学校外国語基礎研修① 教育センター専門研修 教育課程研究協議会（高等学校）	大学教授等外部有識者 千葉県教育委員会
8月	教育課程研究協議会（小・中学校） 市教育研究会連携研修（中学校） 小学校外国語基礎研修②③ 英語ディベートサマーカップ（高等学校）	大学教授等外部有識者 大学教授等外部有識者 千高教研英語部会
9月	中学校外国語指導助手研修会④	
10月	英語ディベート大会ジャッジセミナー（高等学校） 小学校外国語指導助手研修会③ 中学校外国語指導助手研修会⑤⑥⑦ （実施月は予定）中学校西部ブロック研修（公開授業） 英語教育拠点校・公開授業及び研究協議会（小中高）	千高教研英語部会 大学教授等
11月	中学校外国語指導助手研修会⑧ （実施月は予定）中学校東部ブロック研修（公開授業） 英語教育拠点校・公開授業及び研究協議会（小中高）	大学教授等
12月	英語授業力向上研修会（高等学校）	千高教研英語部会
1月	小学校外国語指導助手研修会④ 中学校外国語指導助手研修会⑨	
2月		
3月	中学校外国語指導助手研修会⑩⑪	

